

本資料のうち、枠囲みの内容は  
商業機密の観点や防護上の観  
点から公開できません。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-C-13-0002_改0
提出年月日	2021年1月20日

## 工事計画に係る説明資料

### 浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備

(図面類)

2021年1月

東北電力株式会社

#### 9.4.1 内郭浸水防護設備

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注 1：特記なき寸法はmmを示す。

注 2：特記なき寸法は公称値を示す。

\* 1：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈  
下が発生していることを考慮した設  
計とし、地盤沈下量を考慮した高さ  
を示す。

工事計画認可申請 第 9-4-2-1-87 図

女川原子力発電所 第 2 号機

名 原子炉建屋浸水防止水密扉(No.2)  
称 構造図

東 北 電 力 株 式 会 社

0Z25

第 9-4-2-1-87 図 原子炉建屋浸水防止水密扉 (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2080		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1335		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注 1：特記なき寸法はmmを示す。

注 2：特記なき寸法は公称値を示す。

\* 1：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈  
下が発生していることを考慮した設  
計とし、地盤沈下量を考慮した高さ  
を示す。

工事計画認可申請 第 9-4-2-1-88 図

女川原子力発電所 第 2 号機

名 原子炉建屋浸水防止水密扉(No.1)  
称 構造図

東 北 電 力 株 式 会 社

0Z25

第 9-4-2-1-88 図 原子炉建屋浸水防止水密扉 (No. 1) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2080		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1335		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注 1：特記なき寸法はmmを示す。

注 2：特記なき寸法は公称値を示す。

\* 1：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈  
下が発生していることを考慮した設  
計とし、地盤沈下量を考慮した高さ  
を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-89 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	制御建屋浸水防止水密扉(No.3) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第 9-4-2-1-89 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2076		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1816		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注 1：特記なき寸法はmmを示す。

注 2：特記なき寸法は公称値を示す。

\* 1：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈  
下が発生していることを考慮した設  
計とし、地盤沈下量を考慮した高さ  
を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-90 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	制御建屋浸水防止水密扉(No.1) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第 9-4-2-1-90 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 1) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2080		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1175		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注 1：特記なき寸法はmmを示す。

注 2：特記なき寸法は公称値を示す。

\* 1：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈  
下が発生していることを考慮した設  
計とし、地盤沈下量を考慮した高さ  
を示す。

工事計画認可申請 第 9-4-2-1-91 図

女川原子力発電所 第 2 号機

名 称 制御建屋浸水防止水密扉(No.2)  
構造図

東 北 電 力 株 式 会 社

0Z25

第 9-4-2-1-91 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1955		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1000		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注 1：特記なき寸法はmmを示す。

注 2：特記なき寸法は公称値を示す。

\* 1：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈  
下が発生していることを考慮した設  
計とし、地盤沈下量を考慮した高さ  
を示す。

工事計画認可申請 第 9-4-2-1-92 図

女川原子力発電所 第 2 号機

名 計測制御電源室(B)  
称 浸水防止水密扉(No.3) 構造図

東 北 電 力 株 式 会 社

0Z25

第 9-4-2-1-92 図 計測制御電源室 (B) 浸水防止水密扉 (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2111		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1522		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注 1：特記なき寸法はmmを示す。

注 2：特記なき寸法は公称値を示す。

\* 1：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈  
下が発生していることを考慮した設  
計とし、地盤沈下量を考慮した高さ  
を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-93 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	制御建屋空調機械(A)室 浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第 9-4-2-1-93 図 制御建屋空調機械 (A) 室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1990		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	950		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注 1：特記なき寸法はmmを示す。

注 2：特記なき寸法は公称値を示す。

\* 1：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈  
下が発生していることを考慮した設  
計とし、地盤沈下量を考慮した高さ  
を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-94 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	制御建屋空調機械(B)室 浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第 9-4-2-1-94 図 制御建屋空調機械 (B) 室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2106		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1047		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密および防護上の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

\*1：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請 第9-4-2-1-95 図

女川原子力発電所 第2号機

名称 第2号機MCR浸水防止水密扉  
構造図

東北電力株式会社

0225

第 9-4-2-1-95 図 第 2 号機 MCR 浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉 体	たて	2600		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	2030		同上
小 扉	たて	2200		同上
	横	1044		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密および防護上の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注 1：特記なき寸法はmmを示す。

注 2：特記なき寸法は公称値を示す。

\* 1：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈  
下が発生していることを考慮した設  
計とし、地盤沈下量を考慮した高さ  
を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-96 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	制御建屋浸水防止水密扉(No.4) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第 9-4-2-1-96 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 4) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1840		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	945		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注 1：特記なき寸法はmmを示す。

注 2：特記なき寸法は公称値を示す。

\* 1：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈  
下が発生していることを考慮した設  
計とし、地盤沈下量を考慮した高さ  
を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-97 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	制御建屋浸水防止水密扉(No.5) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第 9-4-2-1-97 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 5) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2052		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	2002		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



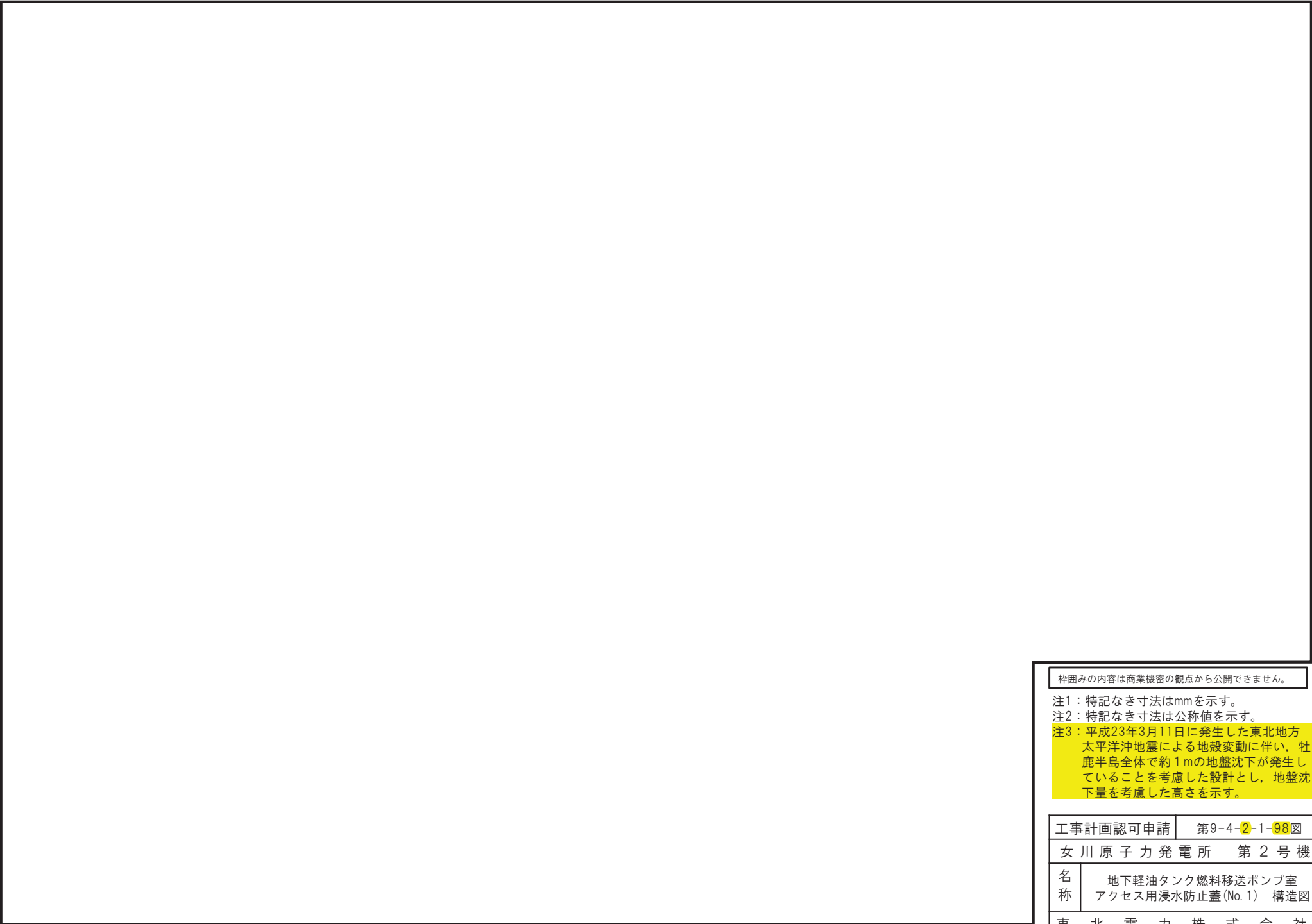
第 9-4-2-1-98 図 地下軽油タンク燃料移送ポンプ室アクセス用浸水防止蓋 (No. 1) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1336		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1070		同上
厚さ	16	±0.65mm	JIS G 3193

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。  
注3：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請 第9-4-2-1-98図

女川原子力発電所 第2号機

名称	地下軽油タンク燃料移送ポンプ室 アクセス用浸水防止蓋(No.1) 構造図
----	-----------------------------------------

東北電力株式会社

0Z25

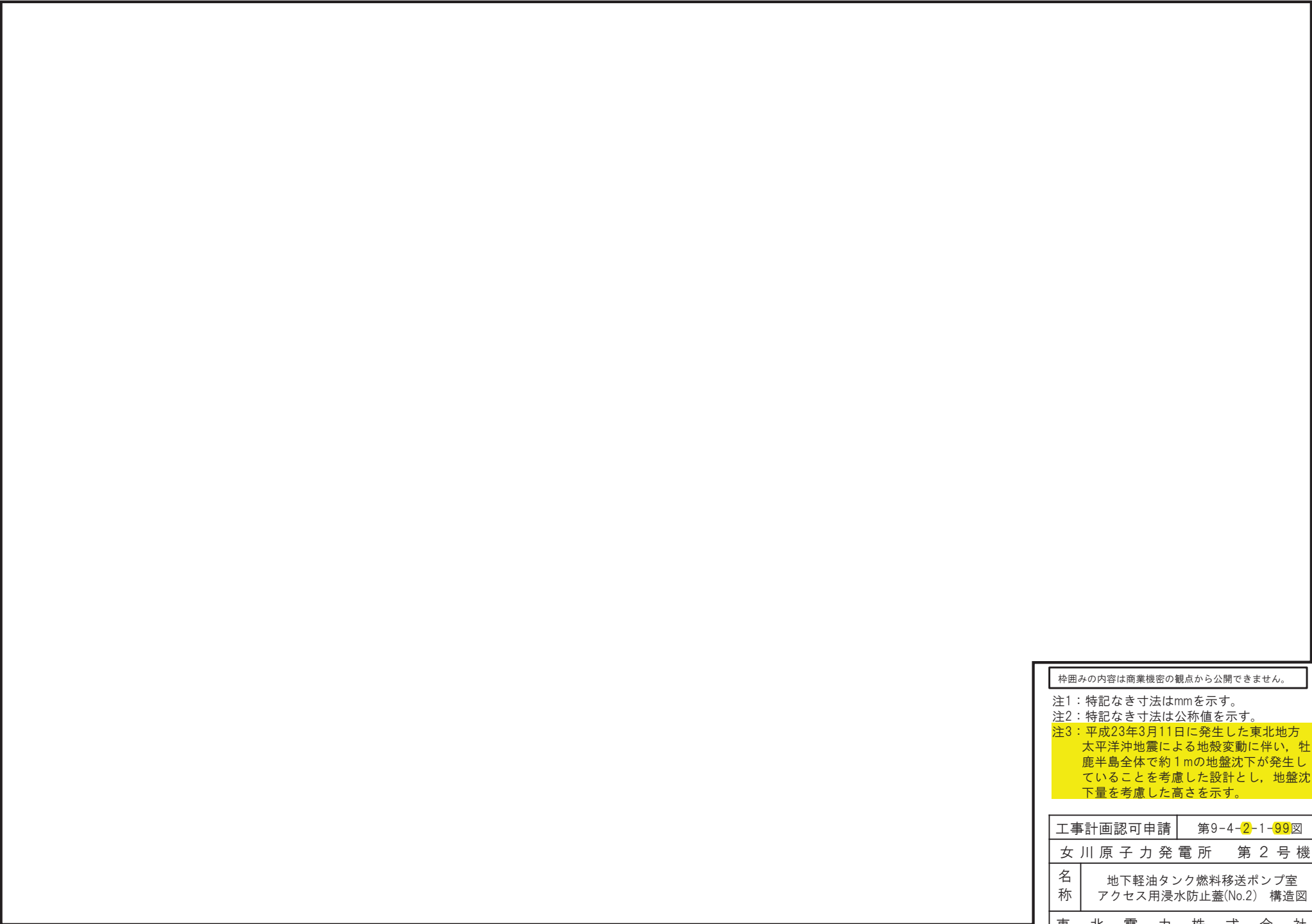
第 9-4-2-1-99 図 地下軽油タンク燃料移送ポンプ室アクセス用浸水防止蓋 (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1336	□	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1070		同上
厚さ	16	±0.65mm	JIS G 3193

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。  
注3：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請 第9-4-2-1-99図

女川原子力発電所 第2号機

名称 地下軽油タンク燃料移送ポンプ室  
アクセス用浸水防止蓋(No.2) 構造図

東北電力株式会社

第 9-4-2-1-100 図 地下軽油タンク機器搬出入用浸水防止蓋構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1336		製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準
横	1030		同上
厚さ	16		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

注3：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請 第9-4-2-1-100図

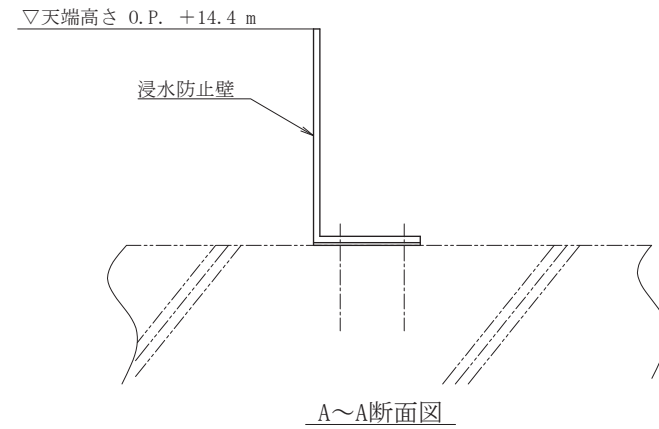
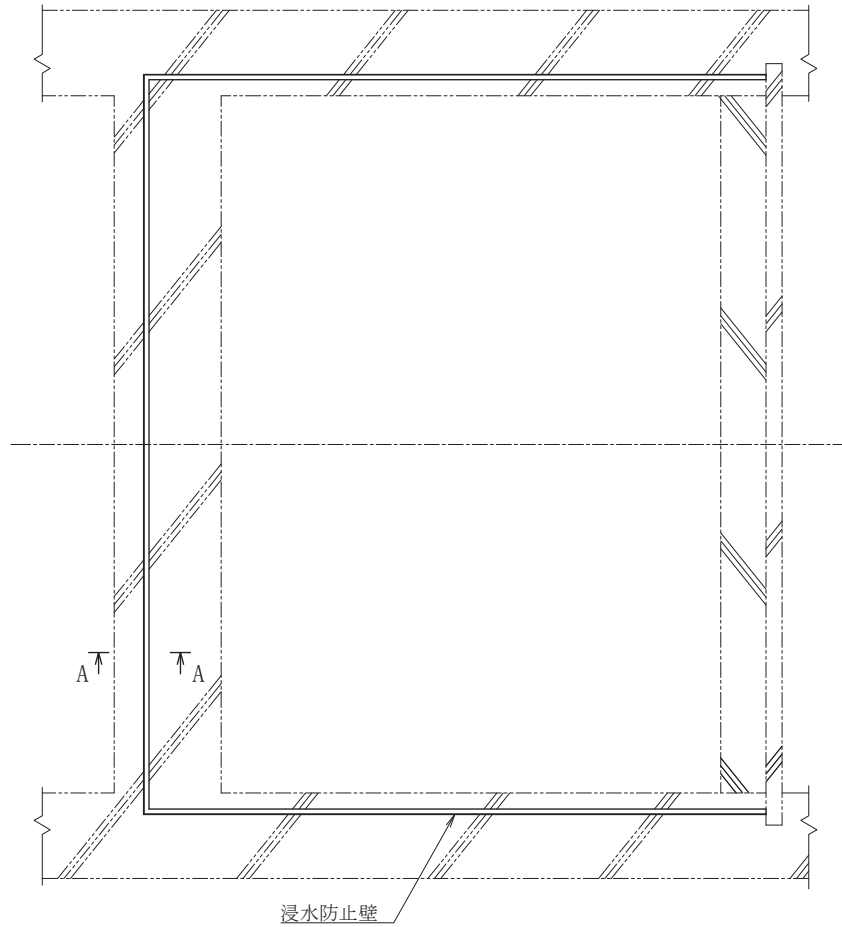
女川原子力発電所 第2号機

名称 地下軽油タンク機器搬出入用  
浸水防止蓋 構造図

東北電力株式会社

0Z25

PN 



注1：特記なき寸法は公称値を示す。  
 注2：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、  
 牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、  
 地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第9-4-2-1-101図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	第2号機海水ポンプ室 浸水防止壁構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-2-1-101 図 第 2 号機海水ポンプ室浸水防止壁構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
天端高さ	O.P. +14.4m	+規定しない 0.0 mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第 9-4-2-2-3 図

女川原子力発電所 第 2 号機

名 称 内郭浸水防護設備  
機器の配置を明示した図面（その3）

東 北 電 力 株 式 会 社

枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

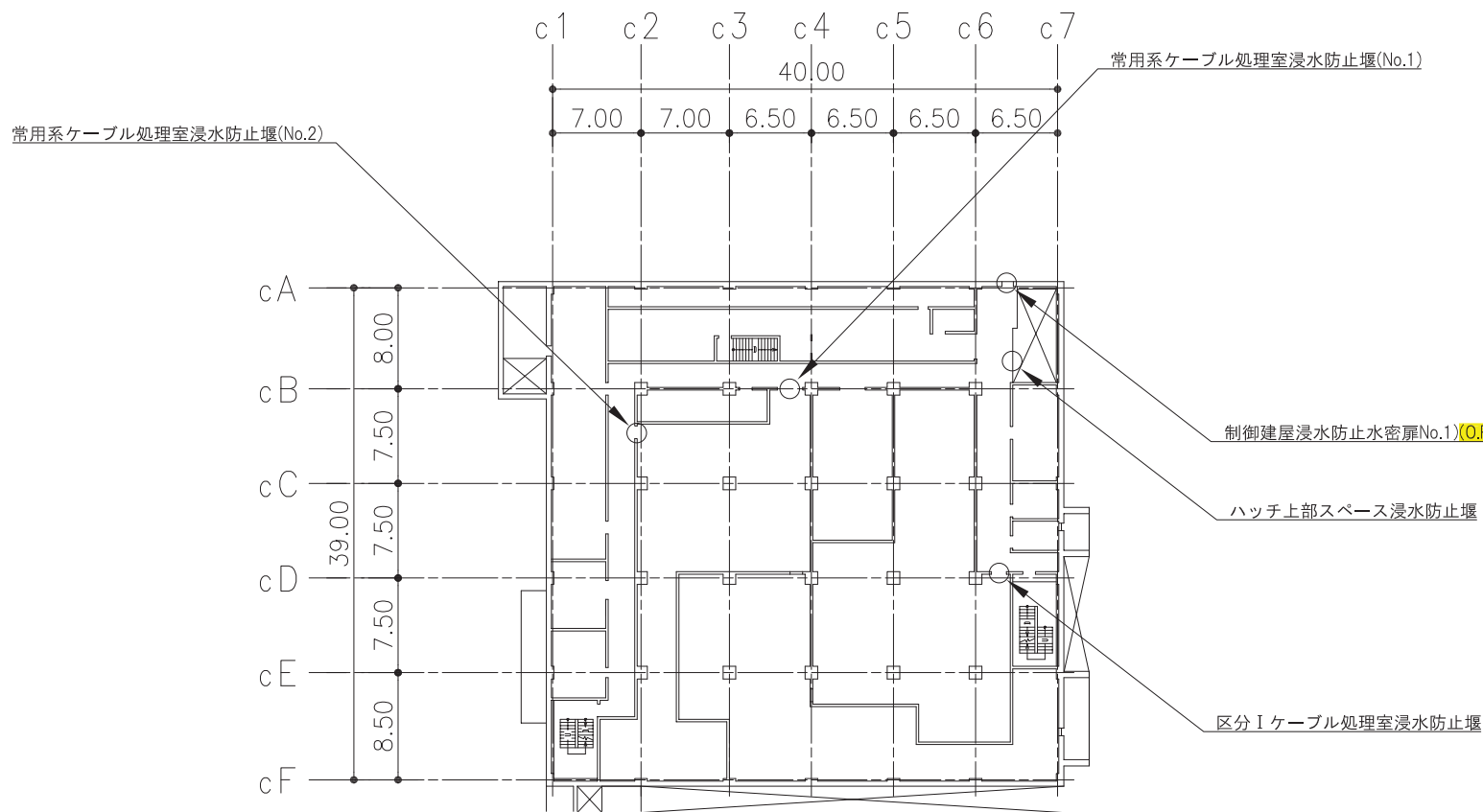
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第 9-4-2-2-7 図

女川原子力発電所 第 2 号機

名 称 内郭浸水防護設備  
機器の配置を明示した図面（その 7）

東 北 電 力 株 式 会 社



制御建屋 O. P. 19. 50

\*1：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-2-8 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名	内郭浸水防護設備
称	機器の配置を明示した図面（その8）
東 北 電 力 株 式 会 社	

枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

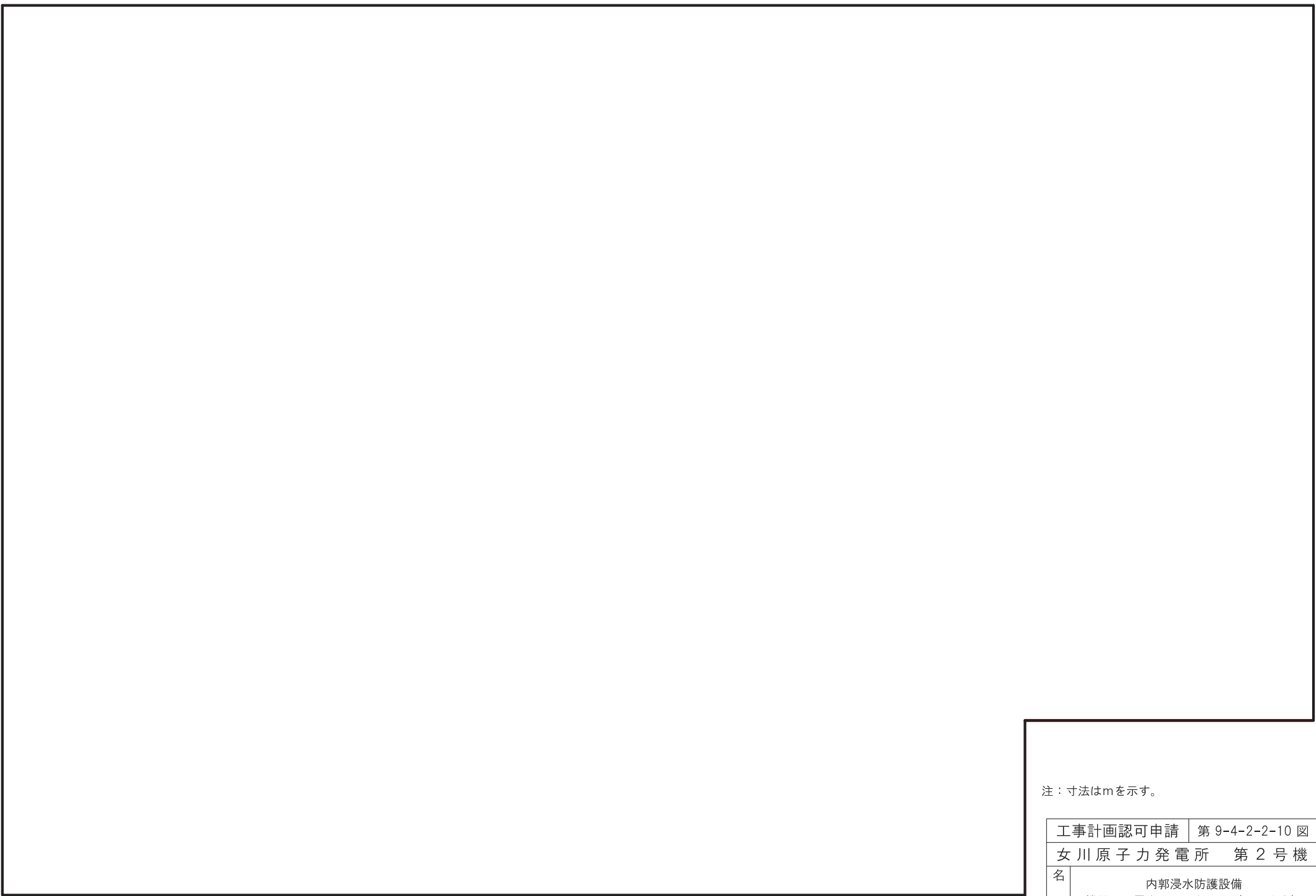
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第 9-4-2-2-9 図

女川原子力発電所 第 2 号機

名 称 内郭浸水防護設備  
機器の配置を明示した図面（その 9）

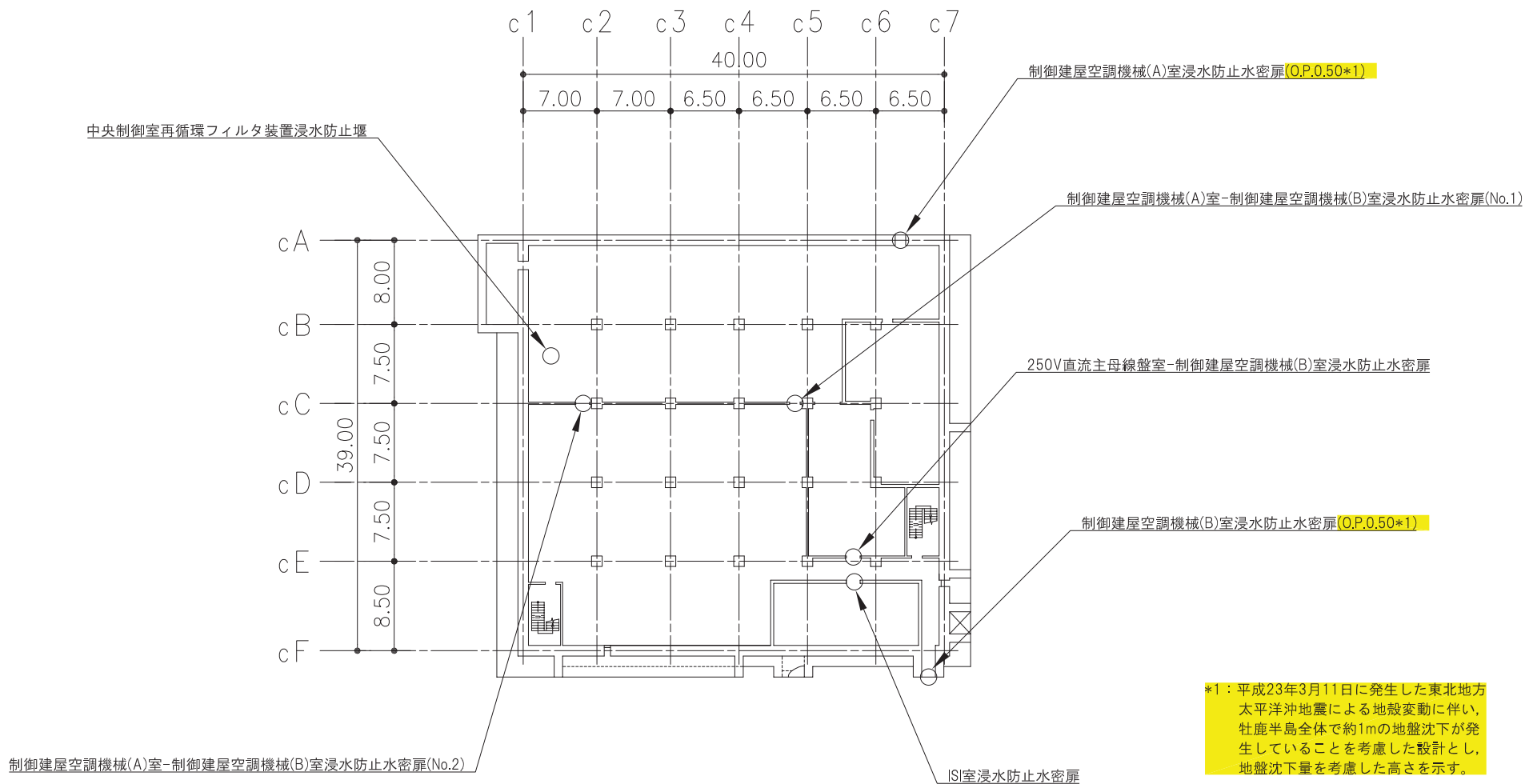
東 北 電 力 株 式 会 社



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-2-10 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面（その 10）
東 北 電 力 株 式 会 社	

枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

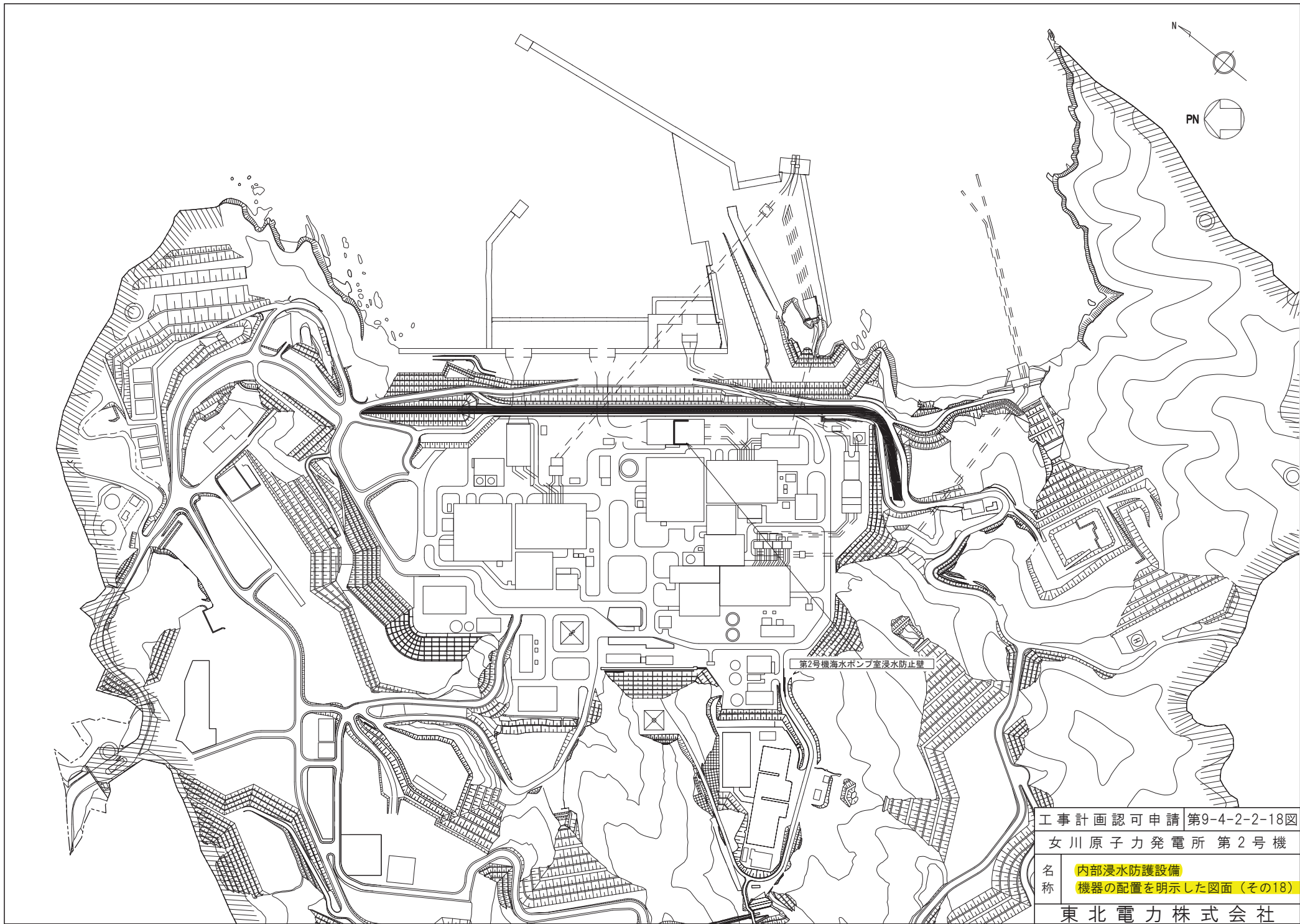


\*1：平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

注：寸法はmを示す。

制御建屋 O. P. 1. 50

工事計画認可申請	第 9-4-2-2-11 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その 11)
東 北 電 力 株 式 会 社	



工事計画認可申請 第9-4-2-2-18図

女川原子力発電所 第2号機

名称 内部浸水防護設備  
機器の配置を明示した図面 (その18)

東北電力株式会社